



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 伊達 仁

TEL 03-6408-2488

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,474	20.8	85	155.6	84	140.5	52	153.4
2019年3月期第1四半期	1,220	11.8	33	132.8	35	146.0	20	48.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 53百万円 (145.3%) 2019年3月期第1四半期 22百万円 (52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.30	
2019年3月期第1四半期	4.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	2,966	1,772	59.7	348.45
2019年3月期	3,120	1,819	58.3	357.83

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,772百万円 2019年3月期 1,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	10.5	44	37.3	44	40.1	27	39.8	5.30
通期	5,700	4.2	255	6.9	255	3.2	160	3.6	31.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,015,600 株	2019年3月期	6,015,600 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	930,176 株	2019年3月期	930,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,085,424 株	2019年3月期1Q	5,085,459 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善等を背景に、全体として底堅く推移しました。一方、世界経済においては、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題の継続に加え、中東情勢の緊張の高まり等により、不確実性が増し景気の先行きは、不透明な状況が続いております。

ITサービス市場においては、働き方改革への取り組みを含み、人手不足に対応するための自動化・省力化投資等、IT関連投資が多様化してきております。

このような状況下で、当社グループは、企業理念「Connect to the Future（お客様が描く未来を、私たちが技術で繋いでいく）」に沿い、今期は全社をあげて「AI、RPA（＊）に代表される自動化技術」に積極的に取り組むことと致しました。その為に、当社エンジニアの技術力を高めることと自社内において「自動化技術」を積極的に活用するための「積極的投資」を実施しております。当第1四半期連結累計期間は、前期までの投資による成果が現れて来たことに加えて、スポット案件が重なったこと等により、過去10期の中では最も高い収益を達成することができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,474,632千円（前年同期比20.8%増）、営業利益は85,073千円（同155.6%増）、経常利益は84,660千円（同140.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は52,429千円（同153.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

なお、当社の組織体制の変更に伴い、従来「教育ソリューション事業」に含めておりましたインド支店部門を「その他」に、従来「その他」に含めておりました医療コンサルティング部門を「ライフサイエンスサービス事業」にそれぞれ含めることといたしました。また従来「その他」に含めておりました営業部門を「ICTソリューション事業」、「その他」、「全社」に区分することといたしました。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分により組替えた数値で比較しております。

①教育ソリューション事業

当事業は、海外メーカやサービスベンダが日本市場へ参入した際に、必要となるエンドユーザ向けの技術トレーニング事業を請け負うほか、当社独自のICTの最先端技術トレーニングの提供と、スキルの棚卸しから不足するスキルを補う教育までのサイクルを総合的にコンサルティングする人財コンサルティングサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、技術トレーニング事業における新人研修業務の受託増、前期に実施したオフィスエリアの拡張による受託業務拡大等により、売上高、営業利益とも増加しました。以上の結果、教育ソリューション事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は183,241千円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は53,823千円（同32.7%増）となりました。

②ICTソリューション事業

当事業は、ICTシステムの設計・構築・運用・保守サービスと製造支援サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、前期からの繰り越し案件の計上、Sier企業からの案件獲得や大型スポット案件の受注により、ICTソリューション事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は839,873千円（前年同期比23.1%増）、セグメント利益は165,441千円（同32.5%増）となりました。

③西日本ソリューション事業

当事業は、西日本地域におけるICTシステムの運用・保守サービスとライフサイエンスサービスを提供しております。国内企業向けのICTシステムの運用・保守サービスが引き続き好調であり、業務受託量が増加した結果、西日本ソリューション事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は182,002千円（前年同期比20.5%増）、セグメント利益は30,817千円（同31.6%増）となりました。

④ライフサイエンスサービス事業

当事業は、ICTが応用的に使われている医療機器、化学分析装置などの据付、点検、校正、修理等の保守サービスを提供しております。医療機器分野はIT化による市場ニーズが拡大しており、積極的に営業活動を行った結果、案件受託数が増加しました。以上の結果、ライフサイエンスサービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は197,736千円（前年同期比24.4%増）となり、セグメント利益は14,563千円（前年同期は231千円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

①～④は、当社が創業以来取り組んできました国内外企業からのアウトソーシング事業であることに対して、本セグメントは、新規事業であります。当第1四半期連結累計期間は、当社サービスである「Third AI (サードアイ)」がソフトバンク社より評価され、「AIエコシステムプログラム」において、「ベスト・テクノロジー・パートナー・オブ・ザ・イヤー」を昨年に引き続き2年連続で受賞致しました。また2019年7月18日には、新たにAIソリューション「Third AI マーケティングソリューション」および、そのサービスラインアップとしてマーケティングサービス「レコメンドアイ」の販売を開始致しました。

一方で、AI・RPA関連事業の受注増・ビジネス拡大に対応するため、サービス強化と要員体制充実のため、積極的に先行投資を継続しました。以上の結果、その他の当第1四半期連結累計期間の売上高は71,779千円(前年同期比9.3%増)、セグメント損失は33,383千円(前年同期は27,477千円のセグメント損失)となりました。

* : RPA (Robotic Process Automation) パソコン上で人間が行ってきた、ルーチンワークをソフトウェアによって代行します。ホワイトカラー業務の効率化・自動化の取組みで、人間の補完として業務を遂行できることから、仮想的労働者 (Digital Labor) とも言われています。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し153,973千円減少し2,966,267千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し128,596千円減少し2,398,062千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加に対し、現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し25,377千円減少し568,204千円となりました。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し106,252千円減少し1,194,244千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し106,270千円減少し666,014千円となりました。これは主に、賞与引当金、未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し18千円増加し528,230千円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し47,721千円減少し1,772,023千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に対し、剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期(累計)の連結業績予想を上回っておりますが、現時点において通期の業績予想(売上高5,700百万円、営業利益255百万円、経常利益255百万円、親会社株主に帰属する当期純利益160百万円)は、前回公表した数値を据え置いております。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

なお2020年3月期 第2四半期連結業績予想(2019年5月9日公表)に対する進捗率は、下表の通りです。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半期 純利益 (百万円)	1株当たり四半期 純利益 (円)
第2四半期 (累計) 業績予想	2,800	44	44	27	5.30
当第1四半期 実績	1,474	85	84	52	10.30
進捗率	52.7%	193.3%	192.4%	194.2%	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,401,550	1,186,025
受取手形及び売掛金	930,212	1,045,972
商品	25,331	15,945
仕掛品	55,249	63,004
原材料及び貯蔵品	11,522	14,347
その他	111,460	81,431
貸倒引当金	△8,666	△8,664
流動資産合計	2,526,658	2,398,062
固定資産		
有形固定資産	148,765	149,677
無形固定資産	14,998	15,352
投資その他の資産		
その他	432,672	406,029
貸倒引当金	△2,855	△2,855
投資その他の資産合計	429,817	403,174
固定資産合計	593,581	568,204
資産合計	3,120,240	2,966,267
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,330	155,102
未払法人税等	79,702	12,163
賞与引当金	181,445	80,171
その他	351,805	418,577
流動負債合計	772,284	666,014
固定負債		
退職給付に係る負債	527,461	527,480
その他	750	750
固定負債合計	528,211	528,230
負債合計	1,300,496	1,194,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	888,262	838,983
自己株式	△478,747	△478,747
株主資本合計	1,852,164	1,802,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△14
為替換算調整勘定	△6,948	△6,609
退職給付に係る調整累計額	△25,471	△24,238
その他の包括利益累計額合計	△32,420	△30,862
純資産合計	1,819,744	1,772,023
負債純資産合計	3,120,240	2,966,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,220,885	1,474,632
売上原価	996,722	1,197,922
売上総利益	224,162	276,710
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△4,782	△2
給料及び賞与	55,830	57,549
賞与引当金繰入額	8,136	5,221
退職給付費用	1,730	1,801
支払手数料	39,290	40,653
その他	90,675	86,412
販売費及び一般管理費合計	190,879	191,637
営業利益	33,282	85,073
営業外収益		
受取利息	10	10
受取出向料	744	841
為替差益	1,044	—
その他	136	63
営業外収益合計	1,935	915
営業外費用		
支払利息	14	6
為替差損	—	1,321
営業外費用合計	14	1,328
経常利益	35,203	84,660
特別損失		
固定資産除却損	—	5,009
特別損失合計	—	5,009
税金等調整前四半期純利益	35,203	79,651
法人税、住民税及び事業税	2,172	2,172
法人税等調整額	12,340	25,048
法人税等合計	14,512	27,221
四半期純利益	20,691	52,429
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,691	52,429

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	20,691	52,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△14
為替換算調整勘定	△250	338
退職給付に係る調整額	1,503	1,233
その他の包括利益合計	1,315	1,557
四半期包括利益	22,006	53,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,006	53,987
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。